

「ウェスタン・ミシガン大学の日本語教室」

ミシガン州の南西部に位置するカラマズー市にミシガン州立ウェスタン・ミシガン大学があります。ここで、10代の若者に日本語を教える取り組み（**Japanese language lessons for teen at WMU**）があると聞き、ウェスタン・ミシガン大学を訪問しました。（実施は3月19日、26日、4月2日、9日、16日）

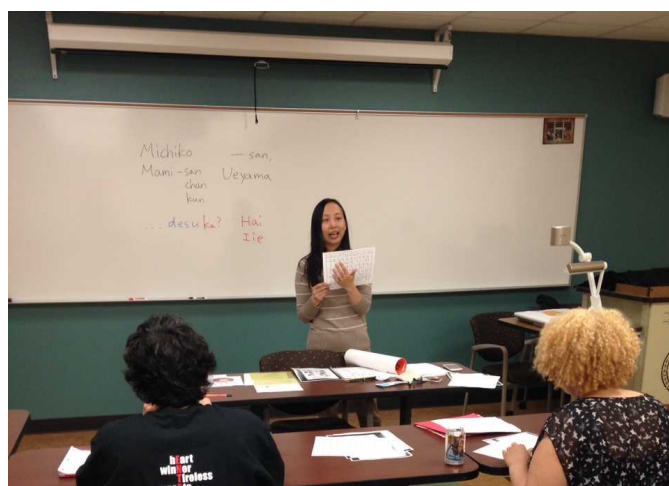
ミシガン州内には、中学、高校で外国語として日本語を教える授業がある学校もありますが、カラマズー市の中学、高校には日本語クラスがありません。そこで、高校生に日本語に触れてもらおうと、このレッスンを企画されました。企画は、ウェスタン・ミシガン大学の曽我日本センター（**Soga Japan Center**）職員の吉本道子さんによるものです。

私が訪問した日は第2日目（3月26日）で大変風が強い日でした。応募があったのは4名の高校生で、この日の出席者は2名でした。人数は少ないのですが、やる気はすごく感じられました。

彼らの目的は日本語に触れること、日本語を習得することなのですが、何故、日本語を習おうと思ったのかと尋ねたところ、「アニメが好きだから」という答えでした。

吉本さんが目指しているところは、「日本語に触れてもらうこと」だけではなく、「若者に大学に来てもらうこと」、「大学で日本語を学ぶことにつなげること」とのこと。現在は、ウェスタン・ミシガン大学でも日本語の生徒は減っているということもないが、将来につながる事業にも取り組んでいきたいとのことでした。

今回は、この企画を周知する期間が短く、生徒が集まらなかったとのことですが、この取り組みを継続され今後、どんどん日本語を学ぶ高校生、中学生が増えて、将来につながっていくものと期待しています。



当日のレッスン風景。

奥に吉本道子さん、手前左がマーティン君、右がアレクザさん。